



汝の隣人を愛するには、
 まずはプレゼントから。

**オランダ人
 アーティストによる、
 ユニークな
 お隣さんグッズ。**

お隣さん、万能グッズ
 Neighbors' Goods
 10月に開催されたオランダのデザイナー6組による展示「トレジャーハント:心を捉えるものは何?」で発表された「Neighbourshop」。ワゴンにお隣さん万能グッズが並べられ、多くのお客さんを集めていた。来春には東京都現代美術館での展開が予定されているという。●「お隣さんに音楽を / Music for Neighbours」1050円※他の商品の値段についてはお問い合わせください。(MITATE tel.03-3479-3842)



言いにくいことを伝える郵便BOX。



同じ色ならもっと仲よし。隣人塗料。



階段の静かに上がるためのスリッパ。



モース信号表付ソフトハンマー。



隣の庭の分も水やり。長いじょうろ。



ちょっとした会話なら空き缶電話。



お隣さんの涙を拭くためのハンカチ。



足りないときにはシュガー貸します。

1 960年代以降、多文化共存をモットーに積極的に外国人移民を受け入れてきたオランダ。現在ではイスラム系移民は総人口の約10%、100万人に達するという。一方、生じてきたのが移民たちが一部に集中して居住し、オランダ人と融和しないという問題。コミュニケーションの断絶によって、犯罪や経済、文化格差などの問題が

頻発しているという。そんななか、アムステルダムでクリエイティブチームEGBGのディレクターを務めるマルタン・エンブルブレクトがはじめたのが、「ご近所ショップ」なる民族、宗派、世代の異なる隣人との隔たりを、贈り物をするこでなくそうというプロジェクト。モノにはお互いが仲良くなるためのちょっとした仕掛けがある。例え

ば写真のCD、空のCD-Rのケースにこんなメッセージ。「このCDは私の好きな曲を集めたものです。通常のボリュームでプレイしてください。私は隣で聞くことができるから!」。何かとトラブルの元になる壁越しの騒音をポジティブに変える仕組みだ。仲良くなるには喜んでもらうこと。コミュニケーションの大切さを軽快に教えてくれる。

えぐち・ひろし●ブックショップ「UTRECHT」代表。毎週火・木曜日午後にはJ-WAVEの番組「page by page」で本を語るブックファン。http://www.utrecht.jp/